

2019 年度 事業報告



社会福祉法人足立邦栄会

特別養護老人ホーム さくら

＜介護老人福祉施設・短期入所＞

障害者支援施設 かえで

＜施設入所支援・短期入所＞

＜生活介護＞

デイサービスセンター さくら

＜通所介護・認知症対応型通所介護＞

＜居宅介護支援＞

地域包括支援センター鹿浜

〒123-0862

東京都足立区皿沼2丁目8番8号

TEL 03-5691-7150

FAX 03-5691-8147

<http://www.houeikai.gr.jp>

info@sakura.houeikai.gr.jp



社会福祉法人 足立邦栄会
2019年度 特別養護老人ホームさくら/障害者支援施設かえで
事業報告

【特別養護老人ホームさくら/障害者支援施設かえで等】 2019年度通期事業報告

<2019年度 重点目標>

さくら・かえでは、Heart to Heart を合言葉に、「かかわる全ての人たちが笑顔となるサービスづくり」を目指します。

1. 総括

2019年度重点目標、さくら・かえでは、Heart to Heart を合言葉に、「かかわる全ての人たちが笑顔となるサービスづくり」を目指し、「全ては利用者の幸せのために」、Heart to Heart を合言葉に「心から心へ届く」支援をおこないました。この重点目標の支援は、日々の日常生活を支え、看取りまでサポートするさくらのお看取り支援として、中央法規出版から介護専門職の総合情報誌「おはよう21」に掲載して頂きました。2019年度はさくらで最高齢104歳のご入居者をはじめ11名の方のお看送りをさせて頂きました。日々の日常生活を積み重ねることで、その方の人生の最期まで寄り添うことができる支援の在り方、職員の日々の支援の積み重ねを評価して頂けたのではないかと思います。

しかし、介護保険施設の人員配置基準及び現状の介護職員数では非常に厳しい状況であることは否めませんでした。定着が促進している部署、離職が続いてしまった部署があり、全体のバランスをとることができませんでした。その解決策のひとつとして、ブロック運営体制を強化するため、新たな管理職の配置を含む人事異動に着手しました。2019年度は目に見える成果はありませんでしたが、新たな組織構築の足がかりとなりました。

地域貢献事業では、新たな地域との繋がりが促進されました。カフェさくらで開催している子ども食堂は、開催日には多くの幼児から高齢者までのご利用があり、賑わいのある時間となりました。また、近隣の貧困、ひとり親家庭の子供への学習支援に特化したNPO法人が、厚生労働大臣の訪問視察を受けられた時は、会議室等のスペース貸しの協力をしました。高齢サービスだけではなく、子供への地域貢献事業への足がかりとなりました。さらに、認知症の人や家族、支援者、一般の人が、リレーをしながら一つのタスキをつなぎゴールを目指す日本縦断イベントの一つ、RUN 伴（ランとも）in あだちに参加しました。足立区初の開催でしたが、さくら職員、ご利用者合わせ、300人以上が参加する大盛況で終わることができました。足立区内他事業所とも連携することができ、今後の地域貢献事業の足がかりになるイベント参加となりました。

2019年度下期より、世界中に広がっているコロナウイルス感染症の影響により、営業自粛や面会制限を余儀なくされ、衛生物品（マスク、アルコール、ガーゼなど）の高騰及び品薄により、2019年度決算はかなりの影響が出ることは否めない状況となっています。コロナウイルス感染症の終息は不透明であり、ワクチンや治療薬が開発されるまでは、継続して感染対応をしていく必要があります。事業所に関わる方々に一人も罹患者を出さない対応を継続していくとともに、社会福祉法人としての役割を粛々と継続していきます。

2. 重点目標に対する評価

(1) サービスの基本

取り組み内容	評価
<p>サービス提供のキーワードである「個別化・尊厳・自己選択」をサービスの基本として利用者支援に取り組みました。利用が笑顔となるサービス提供としては、食事の差し替え、おやつ作り、レクリエーション、リハビリなど、毎月作成するレクリエーションカレンダーに添って実施しました。</p> <p>しかし、サービス提供に欠かせない人員配置は、介護保険施設の人員配置基準は満たしていますが、サービス提供の質の確保、新しいサービスづくりをするためには、非常に厳しい状況でした。</p>	<p>職員採用、育成、定着に重点を置き、離職が続いた部署への積極的な採用、部署を超えた応援体制により、最低限の支援は確保できました。また、介護士ではないとできない直接支援とそれ以外の間接支援に業務を切り分け、効率的に入居者支援ができる配置をすることで、介護士が入居者支援に集中できる環境を整えました。職員育成には時間が掛かりますが、継続して育成に重点を置くことで、安定したサービス提供に繋げていきます。</p>

(2) 利用者・地域支援体制の基本

取り組み内容	評価
<p>お看取り支援は11名の方をお看送りさせて頂きました。お看取り支援にあたっては、医師の説明後に看取り支援の同意を頂き、個別支援計画の作成を行うことで、ご本人、ご家族のご意向を最大限に尊重し、事業所内専門職が連携し支援にあたりました。</p> <p>地域への情報発信は、ホームページ、広報誌を活用しましたが、ホームページの更新は滞ってしまいました。</p> <p>事業所スペースは、こども食堂、手話クラブ、NPO法人、地域包括支援センター主催のらくらく教室、オレンジカフェなど、多くの地域の方に活用して頂くことができました。</p>	<p>個別支援計画は、介護支援専門員、担当介護士により原案が作成され、年2回のサービス担当者会議でご家族等の承認を得られています。意思表示が困難なご利用者の意向反映が課題です。</p> <p>地域への情報発信が積極的に展開されていないため、より多くの方々が気軽に施設を活用できる体制を整えていきます。</p> <p>事業所スペースの貸し出し、地域イベントは継続して積極的に行なっていきます。</p>

(3) 人材に関する基本

取り組み内容	評価
<p>「福祉の働きやすい職場宣言」はしましたが、その後の活用はできませんでした。新しい人材確保が難しく、紹介派遣会社を活用せざる負えないのが現状となっています。</p> <p>人事考課制度は、人事考課の手引きに添って実施され</p>	<p>人材確保、育成、定着を最大の課題とし取り組みました。下期に採用した職員育成は順調に進んでおり、独り立ちした職員が増えることで、徐々にではありますが安定したサービス提供につながりま</p>

<p>ていますが、評価面談シートの活用、面接、評価技法には職員によってバラツキがありました。</p> <p>事業計画に基づいた内部研修は、紙面研修を含め概ね順調に実施できていますが、職員不足により外部研修へはなかなか参加できませんでした。</p>	<p>した。</p> <p>新規入職職員オリエンテーション、内部研修講師が不足しており、講師の育成は継続課題となりました。</p>
---	---

(4) 安定した経営・運営体制の基本

取り組み内容	評価
<p>法人会計システムの導入により、事業運営の見える化はできていますが、計画的な予算執行までには至りませんでした。</p> <p>10月の消費税増税、制度改正は滞りなく対応することができました。</p> <p>人員不足により組織的な体制構築が進まず、利用者支援体制にも影響が出ました。新たな組織体制を構築するため、管理職を含む人事異動、ブロック運営体制の強化に取り組みました。</p>	<p>計画的な予算執行をするために、月次の精査を強化し、考課効率を考えた予算立て、予算執行に取り組みます。</p> <p>人員不足、組織体制の構築には時間が掛かるため、利用率、赤字の事業所を最小限にする必要があります。また、人材確保のため、紹介派遣会社を多数利用したことにより、事業所予算を圧迫する結果となりました。人材募集方法の再考に取り組みます。</p>

(5) 地域貢献事業

取り組み内容	評価
<p>地域貢献事業の創設はできていませんが、施設開放は進んでおり、地域の方々にご利用いただくことができました。</p>	<p>地域の福祉拠点として、さらに地域の方々に安心してご利用いただけるように、施設開放、情報発信を継続していきます。</p> <p>また、下半期はコロナウイルス感染症の影響により、東京オリンピックなどが延期され、施設内外の行事、活動も自粛となっています。様々なイベントを楽しみにされていた地域、ご利用者、職員も含め、安全に生活ができ、生活の中で楽しむことができることを考案していきます。</p>

3. 特記事項

令和2年2月3日に東京都福祉保健局の現地検査が実施されました。指摘事項については、改善計画を提出しました。運営内容を見直す機会となり、今後も運営基準に沿った運営をしていきます。

【特別養護老人ホームさくら/障害者支援施設かえで】2019年度通期事業報告

1. 重点目標に対する評価

(3 階フロア)

(1) ご入居者の生活の中で楽しみを作る機会を設ける。

取り組み内容	評価
<p>ご入居者の生活の中で楽しみを作る機会として個別支援や食事会・おやつ差し替え・外出の機会を多く作りしました。</p> <p>※食事会 7回実施※ 4月・5月・6月・7月・8月・11月・2月</p> <p>※おやつ差し替え 4回実施※ 8月・10月・2月・3月</p> <p>※個別外出 1回実施※ 11月</p>	<p>ほぼ毎月何かしらの「楽しみ」を提供できました。外食や出前を行うと普段見られない表情や「おいしかった」「たのしかった」「ありがとう」等の喜びの声と笑顔が多くみられました。</p> <p>また職員も一緒に参加することで「楽しみ」を共有させて頂けて、良い思い出を作ることが出来たと思います。</p> <p>次年度も継続していきたいと思います。</p>

(2) ご入居者との「関り」「気づき」「気遣い」「心遣い」を大切にする。

取り組み内容	評価
<ul style="list-style-type: none"> 毎月職員に対して目標を掲げて意識を持つように促しました。 整容や清潔保持（手洗い・汚れた衣類を気が付いたときにすぐに交換する等）を確実に行うよう呼び掛けました。 お看取りご入居者の支援を居室担当が積極的に行うことを推進しました。 	<p>職員の人員確保により「関り」「気づき」「気遣い」「心遣い」を大切できる心を安定して持つことが出来たのだと思います。</p> <p>業務中心からご入居者の支援を考えるようになりご入居者主体の支援展開が増え、職員がご入居者と「関わることの大切さ」と「楽しみ」を感じる事が出来た為 フロアの雰囲気も明るくなりました。</p> <p>お看取り支援で旅立つ際にも職員・ご入居者でその方にあったお見送りができました。</p> <p>次年度も同様の目標を掲げていきたいと思いません。その為には安定した人員の確保を継続できるかが課題となります。</p>

(3) 職員がご入居者と向き合い「関りの中で気が付く」ことで心身の変化にいち早く気が付く。

取り組み内容	評価
<p>個々の関りも多く持てるようにスヌーズレンや和みの会・リハビリも固定の職員ではなく持ち回りで配置をした。</p>	<p>固定の職員だけにしないことで特に訴えの出来ないご入居者（認知症により意思表示が難しい方）と関わる際に「なにかいつもと違う」という</p>

<p>・職員がご入居者への支援の中で少しでもコミュニケーション（非言語コミュニケーションも含める）が多く図れるよう人員の確保に努めました。</p>	<p>「変化」に多くの職員が気づけるようになりました。</p> <p>その気づきを他部署に報告し共有することで状態悪化を防止できたケースもありました。</p> <p>また発語が少ないまた出来なかったご入居者が「関わり」を持ったことで表情により変化と発語が出来るようになったご入居者もいました。</p> <p>また「関わり」の中でよりご入居者を尊重した言葉がけや適切な認知症への理解や対応が出来るかが次年度の課題となります。</p>
---	---

（2 階フロア）

（1）入居者が毎日快適に過ごして頂けるように努めます。

取り組み内容	評価
<ul style="list-style-type: none"> ・毎朝起床後に整容（髪の手入れ、タオルでの顔を拭く）、髭剃りを実施しています。 ・日中帯にて職員、看護側にて爪切りを定期的に行い保清に努めました。 ・居室の清掃は清掃職員を中心に床清掃、筆筒周辺の拭き掃除を実施し、清潔保持に努めました。 ・食事や排泄時に汚れがあった際には、その場で着替えを実施し、ご入居者には気持ちよく過ごして頂けるよう努めました。 	<p>日々の生活支援の中でご入居者の状態を常に把握し、職員同士が連携し整容や爪切り、保清を心がける事が出来たと思います。</p> <p>また看取り支援の際にも居室へこまめに訪室し最期まで気持ちよく過ごして頂けるよう配慮できたと思います。</p> <p>今後も職員同士連携を取りながら、ご入居者が快適に過ごして頂けるよう支援していきます。</p>

（2）レクリエーション（集団、個別支援）

取り組み内容	評価
<ul style="list-style-type: none"> ・ご入居者の楽しみとして、月に 1 回おやつ作りやおやつの差し替えを実施しています。 ・レクリエーションカレンダーに沿っての集団でのレクの提供やご入居者個人の希望を聞き買い物や嗜好品などの提供を実施しています。 ・月に 1 回さくらの話し合いを開催し、話し合いを通してご入居者の意見や希望を伺い、日々の支援や活動に反映しています。 	<ul style="list-style-type: none"> ・おやつ作りや差し替えについては月に 1 回のペースで開催する事ができご入居者も喜ばれていたが、職員の人数の都合で出来ない月もあった為、今後はどの職員でも実施出来るようにし毎月ご入居者に提供出来るようにします。 ・職員の人数の都合で日々のレクリエーションの提供が実施出来ない事が続いていました。今後は活動の機会を定期的に行い実施出来るよう努めていきます。

(施設入所支援)

(1) 入居者個々の障害特性を理解し支援を実施する

取り組み内容	評価
新人職員がコミュニケーションや支援をする際に一人一人どの様に関わるか説明し入居者に適した支援をしてもらうように指導していきました。	都度新人職員へ説明は出来ましたが、入居者とのやり取りで溝が出来てしまう事もあった為、次期も継続して行くべき課題だと感じました。

(2) 要望の解決に向けた迅速な行動を実施する

取り組み内容	評価
入居者の要望があった際はどのくらいまで出来るかを説明しそれまでにしっかりとこなしていくようにしました。 かえで話し合いの場での意見にその場で解凍できるものは入居者に伝わるように納得できるように説明を行いました。	要望に対して基本的に迅速的に動き解決まで出来たことが多いですが、中には解決まで中々進まずになっていることもありました。 話し合いでの意見汲み取りはしっかりと行っていたので今後もしっかりと伝えられるようにしていきます。

(生活介護)

(1) 利用者の意見を尊重した活動・レクリエーションを提供し、「利用者主体」・「自己決定」の実現を目指します。

取り組み内容	評価
・個別外出を利用者の希望に沿った形で実施し、交流を深めながら気分転換をしていただきました。 ・レクリエーションは利用者からの提案や要望を積極的に取り入れる形で活動の計画を立てました。	・行先や食事も利用者の希望を取り入れる事でとても外出を楽しんでいる様子が見られました。次の外出も楽しみにされている様子も見られ利用者主体の外出ができていたと思われます。 ・レクリエーションは利用者の希望を取り入れる事で楽しんでいただけました。今後利用者と一緒にレクリエーションを発案する事にも取り組んでいけたらと思います。

(2) 機能訓練を行い身体状況の維持・向上を目指します。

取り組み内容	評価
・利用者の身体状況、生活環境の変化に応じてリハビリプログラムの見直しを行いました。	・利用者の様子観察と情報収集を行いながら理学療法士や訓練士、看護師と連携を取り利用者の状況に合わせたリハビリを行う事ができました。

(相談支援・施設介護支援)

(1) 相談支援について

取り組み内容	評価
ショート利用期間中だけでなくご自宅での様子も情報収集し利用中の支援展開に活かしました。また、過介護をせずに自宅に戻った時の生活に支障の無いように配慮しました。	利用者の意向を尊重しつつ、身体機能を低下させることなくご自宅に戻すことが出来ました。また、ご家族・ケアマネと密に連絡を取る事で信頼関係をもって連携が取れました。

(2) 施設介護支援について

取り組み内容	評価
必要に応じて現場に直接足を運び、その時の入居者および支援の様子の把握に努め、より良い支援展開に努力しました。	定期的にフロアに足を運び、ご利用者とお話しする機会を設ける他、食事支援、入浴支援等、直接支援に入ることで状態の把握を自分たちの目で確認し支援展開に努めることができました。

(看護)

(1) より良い医療ができるように支援する。

取り組み内容	評価
・あらゆる疾患をお持ちのご入居者に対し専門職として、日常生活の中で観察や関わりを持ちながら、些細な状態の変化に対して早期発見を行い、必要に応じて判断、対応をしていきます。	・医療職だけの主観に囚われず、多職種と情報共有、連携を行ったことでの確かな判断、状態に合わせた支援ができました。 ・定期診察や特変時には臨時の診察を受けて頂くように調整し、救急搬送のリスクを下げ重篤化を防ぐことに繋がりました。

(2) 協力機関との連携・調整

取り組み内容	評価
・嘱託医への電話指示受け、往診、受診の判断を行い、重篤化する前に治療が開始できるようにサポートします。 ・ご入居者、ご家族に安心して治療を受けて頂けるように、嘱託医からの病状説明の調整を行います。	・嘱託医には、医療面だけではなく、生活面も併せて情報提供することにより、ご入居者及びご家族の不安や経済的負担軽減を図り、1人1人に合った治療方針にして頂けるような配慮ができました。

(3) お看取り支援

取り組み内容	評価
・事前に医師に、状態報告と指示を仰ぎ状態に応じた支援を行っていきます。	・多職種と情報共有を行いながら、必要時には点滴や酸素投与を実施。苦痛を伴わないように、日々観察しながら、ご自身が希望する必要最低限の医療支援を行いました。訪室する回数を増やし、声掛けや整容を積極的に実施することが出来ました。

(機能訓練科)

(1)

取り組み内容	評価
高齢者に残されている「機能・能力の現状維持・向上」を目標にリハビリテーションを実施します。	ご入居者の現在の状態を把握し、一人一人にあったリハビリを行いました。また、機能・能力の変化に応じて、リハビリメニューの変更を行い、今現在の出せる力を発揮できる場を提供してきました。

(2)

取り組み内容	評価
理学療法士、音楽療法士と共に協力し合い連携を図りながら、ご入居者の身体機能の維持・向上へ繋げていく。	理学療法士、音楽療法士へご入居者の普段の様子、個別リハビリ時の様子、体調の変化などの報告を行い、リハビリや音楽療法を実施してきました。 また、ご入居者の身体機能の維持・向上の他に、楽しみの一環になる様に、コミュニケーションを大切にし、実施しました。

(栄養科)

(1) 行事食の提供

取り組み内容	評価
・行事にあった食事の提供を行いました 5月端午の節句(刺身、天ぷら等) 7月七夕(七夕そうめん、鰻) 8月納涼祭(屋台メニュー) 9月敬老会(刺身、天ぷら等) 12月クリスマス(ケーキ)、大晦日(年越しそば) 1月正月(おせち)、新年会(刺身、天ぷら等) 3月ひな祭り(ちらし寿司)	行事食はその行事にあったものを今までと変わらず、問題なく提供する事が出来ました。人員不足から行事食の内容に関して、他部署のその行事の担当と検討する事が出来ていない為、今後は都度担当と考えていけるようになると良いと思います。また、厨房職員内の職員の確保により、厨房内でも行事食などについて提案や検討をして

	いけるようにしていきます。
--	---------------

(2) 衛生管理・安全管理の徹底

取り組み内容	評価
<ul style="list-style-type: none"> ・厨房内の衛生管理 専門業者による厨房清掃の実施(年3回)、 付着細菌検査の実施(月1回)、経年劣化 のある厨房機器の入れ替え ・職員の定期検便検査の実施 厨房職員(5~10月は月2回、11~4月 は月1回) 介護職員(月1回:偶数月のみ) 	<ul style="list-style-type: none"> ・経年による劣化が見られている厨房機器が多い 為、業者にて現在使用している機器の診断を実 施。それを基に、厨房機器の入れ替えが徐々に実 施出来ています。今後もまだ入れ替えが必要な厨 房機器はある為、継続して検討が必要な状態 です。 ・厨房職員だけでなく介護職員も引き続き検便検 査を実施する事で、今後も食中毒や感染症への注 意や日頃の衛生管理への意識向上へ繋げていき ます。

(管理課)

(1) 人事・労務管理について

取り組み内容	評価
安定した人員配置を目指し、職員との定期的な面談や健康診断、衛生委員会の毎月開催、研修等の人材育成に努めました。	求人倍率の増加に伴い、人員確保が難しかった一年でした。ご利用者へのサービスにも影響が出るなど、2020年度引き続き重点的に取り組んでいきます。

(2) ボランティア、福祉教育

取り組み内容	評価
近隣の小中学校の福祉教育の場の提供、子ども食堂および手話教室など地域の市民団体への場の無償提供、区内の医療・介護事業所との協働イベント「ラン伴足立」への参加など、地域との協働に注力しました。	様々な機会をとらえて地域との協働に努めた一年となりました。「地域の福祉拠点になる」という法人理念の実現に向け、今後もさらに努力していきます。

(食事支援委員会)

(1) 安全に美味しく、食事を召し上がって頂く。

取り組み内容	評価
<ul style="list-style-type: none"> ・ミールラウンド、嚥下内視鏡検査の実施(月1回) 歯科医師による嚥下機能評価 ・ミールラウンドの評価を基に他部署にて、 食事支援に関する話し合いを実施 	月1回のミールラウンドでの嚥下機能評価を基に、食事支援委員会にて食事支援に関する話し合いを行い、適切な食事支援が継続する事が出来ました。ミールラウンド以外でも、食事支援に関する問題点について、都度他部署にて検討し、支援

<ul style="list-style-type: none"> ・歯科医師や歯科衛生士と連携し、適切な口腔ケアの継続、口腔機能維持（週1回） 	<p>していくことができています。今後も安全に食事支援が継続していけるよう、他部署にて検討していきます。</p>
--	--

(2) 楽しく、お食事を召し上がって頂く。

取り組み内容	評価
<ul style="list-style-type: none"> ・お楽しみ食事会の実施 ・おやつ作りの実施 ・嗜好品の提供、カフェの利用 	<p>実施回数は各フロアで差異はあるが、お楽しみ食事会やおやつ作りなどを実施する事で、楽しみを感じる機会を作る事が出来ました。とても良い表情などが見られる機会でもあるので、今後も継続していきます。</p> <p>人員や担当によって実施状況に偏りが出てしまっていたので、今後はもう少し定期的に負担が掛かり過ぎないように実施していけると良いと思います。</p>

(感染対策委員会)

(1) 「感染症を持ち込まない」「感染症を起こさない」

取り組み内容	評価
<p>「予防、自己防衛」の観点で取り組みを行いました。職員への周知は、上半期は知識の習得を中心に、食中毒、血液感染、インフルエンザ、嘔吐処理について紙面研修を実施しました。下半期は実地研修として全職員へ嘔吐処理の実地研修を実施しました。</p>	<p>紙面研修、実地研修ともに、ほぼ全職員が参加することができました。知識と実践を組み合わせることで、「感染症を持ち込まない」「感染症を起こさない」の意識づけをすることができました。来年度も継続していきます。</p>

(2) 感染症発症ゼロを目標とします。

取り組み内容	評価
<p>年度当初より、スローガンとは別に、「感染症発症ゼロを目標とします」を掲げました。インフルエンザ蔓延の年度があったことを踏まえ、11月より体調如何に問わず職員のマスク着用を義務付け、手洗い、うがいの徹底を周知しました。また、こまめな換気、清掃、大型加湿器の導入も行いました。さらに、風邪症状のあるご入居者には、早めに個室隔離とさせていただき、予防に取り組みました。2月以降、コロナウイルス感染症が全世界で</p>	<p>インフルエンザ、コロナウイルス感染症などの感染症にり患されたご入居者、職員はいませんでした。コロナウイルス感染症が終息しないため、引き続き、「感染症を持ち込まない」「感染症を起こさない」を重点目標とし、感染症発症ゼロを継続していきます。</p>

蔓延しましたが、既に感染症対策を講じていましたので、「施設を安全地帯に」を普及啓発しました。	
--	--

(身体拘束適正化委員会)

(1) 入居者の安全と権利を尊重する。

取り組み内容	評価
入居者の権利擁護を第一に考え、年二回の全職員対象の虐待防止研修・身体拘束廃止研修・事故防止研修を実施しました。また、新規入職職員へも同内容の研修を実施し、職員への注意喚起を行い、施設の法令順守を徹底しました。	<ul style="list-style-type: none"> ・虐待と思われる事例はありませんでした。「小さな出来事」や「不適切な支援」と思われるような事例は、委員会で検討し、必要に応じて運営会議へ上申することで、組織的に虐待に発展しない取り組みを行いました。 ・緊急やむを得ず身体拘束をさせて頂いた入居者は1名いらっしゃいました。実態条件を検討した上で、手続き要件に基づき、必要最小限の期間で解除することができました。 ・接遇マナー行動基準に基づき、職員に対し直接的指導、新規入職研修時、フロアー目標などを用いて注意喚起を行い、敬意、配慮、活気ある対応をしました。今後の課題は、支援中に職員同士だけで支援に関係のない会話をしていることがあるため、継続して取り組みを行います。また、職員のストレスや疲労などにより、言葉遣いなど、支援の乱れが生じる場合があります。委員会だけでは解決しない課題であるため、運営会議へ上申し、組織的な取り組みを促します。

(褥瘡予防委員会)

(1) 皮膚トラブルを最小限にして、悪化しないようにする。

取り組み内容	評価
・皮膚トラブルの要因の一つでもある、乾燥を予防し、軽度の剥離から積極的に多職種と連携を取り、外用薬の選定・処置方法・除圧の確認を行います。	<ul style="list-style-type: none"> ・多職種の協力にて入浴後に保湿剤を塗布することにより、多くの方の乾燥が軽減できていました。入浴日以外は、看護も積極的に保湿剤を塗布し予防に努めることができました。また、予防として排泄後に軟膏の塗布により再燃のリスクがやや軽減されています。 ・初期段階で、写真や状態を詳細に記録し情報共有を行うことで適切な対応(外用薬・ポジショニ

	ング・排泄状態)の評価がスムーズに実施出来ていました。
--	-----------------------------

(事故防止委員会)

(1) 重大事故に対する再発防止

取り組み内容	評価
事故発生前後の状況を関係者全員に詳細に聞き取る事で発生原因・環境的要因をしっかりと分析しています。それらに基づき対応策を決定し周知・徹底しています。	同様の事故は防げていますが重大事故そのものは継続的に発生しています。 令和2年度も引き続き重大事故「ゼロ」を目標に取り組みを進めます。

(2) リスクマネジメントの検証

取り組み内容	評価
リーダー層以上の職員が会議に参加することでリスクマネジメントについて俯瞰的、客観的に検証しました。	指導場面を活用し、検証した内容をフロア職員にフィードバックしています。現場に入る職員は事故を繰り返さない意識をもって日常の支援に当たりました。

【特別養護老人ホームさくら】

1. 利用状況(2019年4月1日～2020年3月31日)

営業日数	定員	利用者数(3/31 現在)	延べ利用者数
366日	60名	58名	21,456名
一日平均	利用率		
58.6人	97.70%		

【特別養護老人ホームさくら・短期入所】

営業日数	定員	利用者数(3/31 現在)	延べ利用者数
366日	12名	4名	2,379名
一日平均	利用率		
6.5人	54.3%		

2. 職員状況

2020年3月31日現在

職種	配置数	現員(常勤 換算)	うち常勤	うち非常 勤(派遣 含)	入職者数 (通期)	退職者数 (通期)
介護職員/生活支援員	34	27.5	18	16	20	13
看護師	5	4.7	3	2	1	1
機能訓練指導員	1	1	1		1	2
管理栄養士/栄養士	1	1	1			
調理員	13	6.8	3	10	2	4
事務職員	6	4.3	2	4	2	
相談職(各職種を記 載)	3	3	3			
管理者(施設長/所 長)	1	1	1			
その他(事業所の実 態)	8	2.8		8	5	4

3. 事故報告

(1) 重大事故

2階

日付(時間)	内容	対応・対策
12/4 14:48	居室トイレに案内し、トイレに座って頂き職員がその場を離れました。居室前を通ると右	該当職員へ口頭での指導を行いました。今回事故が起きた方を含

	側を下にして居室トイレ脇の床に転倒されているのを発見しました。北部病院受診し右第 11 肋骨骨折との診断あり。屯用の痛み止め処方されました。	め転倒や窒息の事故に直結する場面について、介助しているその場で確認できるようにリスク一覧表を作成し職員に配布・携帯します。
1/12 1:45	夜間帯フロア席にて入眠されており、覚醒後に歩行器使用せずに移動しようとしたところで後方に転倒されました。右側頭部 2 cm × 2 cm ほどの内出血あり。腰痛あり朝一番で北部病院救急外来受診。第一・第三腰椎圧迫骨折の診断あり入院となりました。	夜間覚醒された際は、見守りできる場所で過ごしてもらいました。入眠の声掛けを 30 分前後で促し、傾眠されていた段階で居室へ案内しました。トイレへの案内と臥床介助実施。22 時までに入眠促すも覚醒が強い場合、屯用約服用としました。
2/21 3:00	夜間巡回時、居室床に横になっている所を発見。右背部、腰部に痛みの訴えがあり、9 時、痛み強く聞かれ、北部病院を受診しました。第 11・12 肋骨骨折（ひび）が確認され、内服薬、貼付薬処方がされました。	ナースコールセンサー使用。ベッドは一番低い位置までベッドを下げました。センサー反応時は訪室し安全確認を実施しました。

3 階

日付(時間)	内容	対応・対策
6/24 15:00	おやつ時、左第 5 指に赤く腫れがみられ熱感があり、なかじま整形に受診。レントゲンの結果、左第 5 指中節骨骨折と診断されました。	理学療法士と事故検証実施。ベッド上での自己体動時にベッド柵や天板などにぶつけて受傷した可能性が高いです。ベッド柵にカバーをつけました。夜間睡眠状況について囑託医へ報告し生活リズムの見直しを行いました。
7/2 18:47	夕食後、フロアでご自身の席より立ち上がった後、右側臥位にて転倒された所を発見しました。外傷なし、歩行時に痛みあり。水野記念病院へ救急搬送され右大腿骨頸部骨折と診断され入院し手術実施。	歩行時は付き添いにて対応し、こまめに巡回します。周辺環境を整えます。
7/18 10:45	廊下にて車椅子を押す職員の移動スピードが速かったため、床に触れた足がブレーキとなり、足が床に触れた拍子に止まりきれず右前方に転倒。北部病院受診し左第 5 趾側中足骨骨折と診断シーネ固定実施。	座り直しと車椅子のフットレストをつけ、足が上がっているかの確認。介助のスピードの注意喚起を行います。

(2) 事故ヒヤリハット(件数)

2階

大区分	怪我等	234	服薬関係	29	医療行為	0	対人関係	3
中区分	出血	19	誤薬	3	経管栄養	0	利用者同士	3
	表皮剥離	50	忘れ	3	点滴関係	0	利用者と職員	0
	内出血	97	落下	9	バルン関係	0	情報管理	0
	打撲	4	吐き出し	7	処置関係	0	所有物管理	0
	火傷	0	セットミス	3	未測定	0	機器操作	0
	誤嚥	0	その他	4	その他	0	その他	0
	異食	2						
	その他	62	その他(所在不明含む)					

3階

大区分	怪我等	211	服薬関係	49	医療行為	6	対人関係	1
中区分	出血	20	誤薬	4	経管栄養	5	利用者同士	1
	表皮剥離	67	忘れ	19	点滴関係	1	利用者と職員	0
	内出血	76	落下	17	バルン関係	0	情報管理	0
	打撲	2	吐き出し	1	処置関係	0	所有物管理	0
	火傷	1	セットミス	1	未測定	0	機器操作	0
	誤嚥	0	その他	7	その他	0	その他	0
	異食	1						
	その他	44	その他(所在不明含む)					

4. 権利擁護(苦情・虐待通報等)

2階

日付	内容	対応	解決
10/15	オムツ交換時、ご本人様よりお話しあり。この間、酷い事を言われました。男の職員に「肉の塊だね」と言われた事を大変気にされている様子がありました。話を伺った職員が、その場で謝罪しました。	該当職員に、事実確認を実施しました。該当職員には誤解や不快感を与えない声掛けや態度に配慮しコミュニケーションを取るよう改めて伝えました。	改めてご本人様に謝罪をさせて頂きました。
11/26	ご家族様より、「日付は忘れてしまったが面会時に居室のベッド脇の床に汚染されたパッドが置いてありました。衛生的に不安があります。またベッドのシーツの上が汚れている事が	その場で謝罪し、今後このような事がないよう注意していく旨をお伝えしました。	フロアにて夜勤後のラウンド時の徹底、また汚染した際にはすぐに取り換える様にしました。

	あります。現在疥癬の疑いが出ているからこそ、注意してほしいです」と面会時にお話しがありました。		排泄時のバケツの使用の有無の見直し、確認を怠らないようにしました。
--	---	--	-----------------------------------

3 階

日付	内容	対応	解決
7/2	面会者様より電話にて、ご利用者に対しての口のきき方がひどい。上から目線でご利用者に対し「嫌だよ」と言い、今日のご利用者に対し、ものすごい口調で怒っていました。会議に出て一生懸命支援してくれている職員さんもいる中でどうなのかと思いました。	お話を伺い謝罪しました。 その後 該当職員に確認を行い、責任者からご入居者への対応について指導・注意を行いました。	該当職員への指導・注意を行い話し合いをさせて頂いた件をご報告させて頂きました。
7/20	面会のご家族様よりお話しあり。最近顔にも痣が出来ていますが、本人も分からないので、原因を知らせてほしい。ぶつけてしまうのはしょうがないです。ただ、なぜ痣ができてしまったのか知らせてほしい。	その場で謝罪し、次回面会時に痣の原因をご報告させて頂く事を伝えました。	痣の原因を検証しご家族様にお伝えし、対応策としてはベッド柵の両方を保護していきます。
9/26	ご利用者様より、自分がフロアに向かっている際に職員が押す車椅子がぶつかったのに謝罪がありませんでした。その後、謝りに来ましたが気持ちを感じられませんでした。	翌日職員より事実確認を行い、該当職員に今後、注意することを約束しました。	該当職員がご利用者に改めて謝罪し、リーダー職員もご利用者とお話しをさせて頂きました。

5. 活動・運営報告（活動・イベント・行事）

（1）月次

	2 階	3 階
4 月	お花見 おやつ作り（たこ焼き）	お花見 昼食差し替え（お寿司の出前）
5 月	端午の節句 お楽しみ食事会 おやつ作り（ところてん・フルーチェ）	端午の節句 おやつ作り（アイスクリーム） 昼食差し替え（お寿司の出前）
6 月	お楽しみ食事会、おやつ作り（パフェ）	昼食差し替え（お寿司の出前）
7 月	七夕、個別外出（さくら 1 名）、おやつ作	七夕行事（スイカ割り大会）

	り（すいか割、フルーツポンチ）	誕生日会（104歳の方の誕生日会）
8月	納涼祭	外食（デニーズ）、納涼祭 おやつ差し替え（ケーキ）
9月	敬老会 おやつ差し替え（駄菓子、飲み物）	敬老会
10月	おやつ差し替え（たい焼き）	昼食差し替え（ピザの出前） おやつ差し替え（ケーキ）
11月	個別外出（さくら1名）	外出行事（しまむら・コンビニ・セイムズへの 買い物）、運動活動（玉入れ）、紙芝居 個別外出（西新井アリオ）
12月	クリスマス会、餅つき	クリスマス会、餅つき
1月	新年会	新年会、初詣
2月	節分、おやつ作り（パフェ）	節分、昼食差し替え（お寿司の出前） おやつ作り（チョコレート）、紙芝居
3月	ひな祭り（写真撮影）	ひな祭り（写真撮影） おやつ差し替え（ケーキ）

【障害者支援施設かえで】

1. 利用状況(2019年4月1日～2020年3月31日)

【生活介護】

営業日数	定員	利用者数(3/31 現在)	延べ利用者数
268日	20名	38(内入所10名)名	4,888名
一日平均	利用率		
18.5人	91%		

【短期入所】

営業日数	定員	利用者数(3/31 現在)	延べ利用者数
366日	2名	0名	442名
一日平均	利用率		
1.2人	60.5%		

【施設入所支援】

営業日数	定員	利用者数(3/31 現在)	延べ利用者数
366日	10名	10名	3,616名
一日平均	利用率		
9.9人	98.8%		

2. 職員状況

2020年3月31日現在

職種	配置数	現員(常勤 換算)	うち		入職者数 (通期)	退職者数 (通期)
			常勤	非常勤		
介護職員/生活支援員	9	7.1	3	6	2	2
看護師	1	1	1			
機能訓練指導員	1	0.1		1		1
管理栄養士/栄養士	1	1	1			
調理員	2	1.8	1	1		
事務職員	2	2	2		1	
相談職(各職種を記載)	1	1	1			
管理者(施設長/所長)	1	1	1			
その他(事業所の実態)	1	0.1		1		

3. 事故報告

(3) 重大事故

生活介護 なし

施設入所支援・短期入所 なし

(4) 事故ヒヤリハット（件数）

生活介護

大区分	怪我等	3	服薬関係	0	医療行為	0	対人関係	3
中区分	出血	1	誤薬		経管栄養		利用者同士	1
	表皮剥離		忘れ		点滴関係		利用者と職員	1
	内出血		落下		バルン関係		情報管理	
	打撲	2	吐き出し		処置関係		所有物管理	1
	火傷		セットミス		未測定		機器操作	
	誤嚥		その他		その他		その他	
	異食							
	その他		その他(所在不明含む)					

施設入所支援・短期入所

大区分	怪我等	111	服薬関係	5	医療行為		対人関係	3
中区分	出血	6	誤薬	1	経管栄養		利用者同士	3
	表皮剥離	10	忘れ	1	点滴関係		利用者と職員	
	内出血	20	落下	1	バルン関係		情報管理	
	打撲	4	吐き出し		処置関係		所有物管理	
	火傷		セットミス	2	未測定		機器操作	
	誤嚥		その他		その他		その他	
	異食							
	その他	16	その他(所在不明含む)					

4. 権利擁護(苦情・虐待通報等)

生活介護 なし

施設入所支援・短期入所

日付	内容	対応	解決
5/6	職員の人員不足のため、呼んでもすぐに来てもらえない。施設退所を進めたい。	お話をお聞きし、求人状況および退所のための連絡調整状況について説明する。	左記に同じ。

7/7	新しい衣類を名札つけのめ職員に渡したが、タンスに戻ってこない。名札つけを早くしてほしい。(できないなら自分でつけたい)	お話をお聞きし、早急に対応するとお伝えする。	名札付けを実施。
7/24	職員より嫌なことを言われた。傷ついていた。	その場で謝罪する。	当該職員へ注意。

5. 活動・運営報告（活動・イベント・行事）

(1) 月次

	生活介護	施設入所支援・短期入所
4月	曜日対抗選手権	食事会
5月	利用者懇談会、曜日対抗選手権	
6月	曜日対抗選手権、園芸クラブ野菜作り	
7月	夏祭り	バーベキュー
8月	おやつ（かき氷）作り、曜日対抗選手権	
9月	敬老会	
10月	創作活動、曜日対抗選手権	ハロウィン
11月	合同運動会、曜日対抗選手権	
12月	クリスマス会	クリスマス会
1月	新年会、絵馬作り	新年会
2月	おやつ（チョコ）作り、曜日対抗選手権	豆まき
3月	お花見ドライブ	おやつ作り

(2) 特記事項

なし



社会福祉法人 足立邦栄会
2019年度 デイサービスセンターさくら事業報告

【デイサービスセンターさくら(通常規模型通所介護・認知症対応型通所介護)】2019年度通期事業報告

1. 総括

利用者一人ひとりが住み慣れた地域で、いつまでも安心して暮らしていけるように、利用者や家族の目線に立ち、自立した生活に少しでも貢献ができるサービスの提供目指し、「在宅生活につながるサービス」を合言葉に、利用者一人ひとりのニーズを把握し、生き生きと充実した時間を過ごせることを目標に支援しました。また地域の福祉拠点として求められている社会福祉施設の役割やあり方として近隣の保育園や小学校との交流及びボランティアの受け入れを行い、地域とのつながりを大切にしました。

2. 重点目標に対する評価

通常規模型通所介護

(1) 在宅生活が続けられるよう連携した支援

取り組み内容	評価
毎利用時にバイタルサインの確認と共に、内服の確認を看護師と共に都度行っていく。 筋力低下予防目的で体操を行いく。	行動、体調面等に変化が見られた時には連携し早期に対応が出来ました。

(2) 残存機能を活かし、他者との交流の楽しみを提供

取り組み内容	評価
活動範囲を広げていく。また活動を通してコミュニケーションが出来る様に働きかける。	活動の範囲を広げる事はあまり出来ませんでした。活動中職員が介入する事によって利用者さん同士の話が広がりコミュニケーションが取れるようになりました。

(3) 住み慣れた環境で生活が続けられる福祉拠点の役割

取り組み内容	評価
多職種での連携を強化し、利用者一人ひとりのニーズを的確に発見できるように努めます。また、住み慣れた地域でいつまでも安心して暮らせていけるように、介護支援専門員や、関係機関とのネットワーク構築に努めます。	利用者のニーズに合ったサービスを提供できるよう、ご家族や居宅支援専門員等とこまめな連絡調整に努めました。また、介護支援専門員・訪問介護・訪問看護・福祉用具等、関係機関とのネットワーク構築を意識し、積極的に担当者会議にも参加しご利用中の様子を伝えました。

認知症対応型通所介護

(1) 生活動作を意識した支援への取り組み

取り組み内容	評価
自立した在宅生活を続けられるよう、生活動作を意識した動きを活動に取り入れました。 (昼食の食器を並べて頂く、職員と一緒に配膳して頂く、洗濯物を干していただく、フロア清掃、等)	主に身体機能の高いご利用者しか実行できていません。色々な条件下のご利用者にとどのような形で参加していただけるかが課題となっています。

(2) 運営推進会議の実施

取り組み内容	評価
11月に運営推進会議を実施。ご利用者のご家族やお招きし、施設でのご利用者の様子を見て頂きました。	ご家族との情報交換ができ、個々のより良い支援に繋げる事が出来ました。

(3) 内部・外部調整を行い円滑な利用者支援

取り組み内容	評価
家族をはじめとする関係者・関連機関と綿密な連携を取り、情報共有を図るとともに、職員が良好なケアを継続できるように、職員間で意見交換を行い安定したサービスを提供します。	家族のニーズと状態変化の違いが見られるため、詳細をケアマネや家族へ伝えるとともに、迅速な対応が望まれます。 今後も関係機関と連携を図り、利用者にとってより良いサービスを提供していきます。

3. 利用状況(2019年4月1日～2020年3月31日)

【通常規模型通所介護】

営業日数	定員	利用者数(3/31現在)	延べ利用者数
312日	20名	47名	4369名
一日平均	利用率		
14.1人	69.8%		

【認知症対応型通所介護】

営業日数	定員	利用者数(3/31現在)	延べ利用者数
308日	12名	9名	3696名
一日平均	利用率		
12人	25.8%		

4. 職員状況 2020年3月31日現在

【通常規模型通所介護】

職種	配置数	現員(常勤換算)	うち常勤	うち非常勤	入職者数(通期)	退職者数(通期)
介護職員/生活支援員	5	3.9	3	2	4	3
看護師	2	1.7	0	2	1	2
機能訓練指導員						
管理栄養士/栄養士		特別養護老人ホームさくらと兼務				
調理員		特別養護老人ホームさくらと兼務				
事務職員		特別養護老人ホームさくらと兼務				
相談職(各職種を記載)	1	1	1			
管理者(施設長/所長)	1	1	1			
その他(事業所の実態)	2	0.7		2		

【認知症対応型通所介護】

職種	配置数	現員(常勤換算)	うち常勤	うち非常勤	入職者数(通期)	退職者数(通期)
介護職員/生活支援員	3	2.6	2	1		
看護師	1	0.5		1		
機能訓練指導員						
管理栄養士/栄養士		特別養護老人ホームさくらと重複				
調理員		特別養護老人ホームさくらと重複				
事務職員		特別養護老人ホームさくらと重複				
相談職(各職種を記載)	1	1	1			
管理者(施設長/所長)	1	1	1			
その他(事業所の実態)						

5. 事故報告

(5) 重大事故

通常規模型通所介護 なし

認知症対応型通所介護 なし

(6) 事故ヒヤリハット (件数)

通常規模型通所介護

大区分	怪我等		服薬関係		医療行為		対人関係	
中区分	出血		誤薬		経管栄養		利用者同士	
	表皮剥離		忘れ	1件	点滴関係		利用者と職員	
	内出血		落下		バルン関係		情報管理	
	打撲	3件	吐き出し		処置関係		所有物管理	
	火傷		セットミス		未測定		機器操作	
	誤嚥		その他	2件	その他		その他	
	異食							
	その他	3件	その他(所在不明含む)					

認知症対応型通所介護

大区分	怪我等		服薬関係	2	医療行為		対人関係	
中区分	出血		誤薬		経管栄養		利用者同士	
	表皮剥離		忘れ	1	点滴関係		利用者と職員	
	内出血		落下		バルン関係		情報管理	
	打撲		吐き出し		処置関係		所有物管理	1
	火傷		セットミス		未測定		機器操作	
	誤嚥		その他	1	その他		その他	1
	異食							
	その他		その他(所在不明含む)					

6. 権利擁護(苦情・虐待通報等)

通常規模型通所介護 なし

認知症対応型通所介護 なし

7. 活動・運営報告(活動・イベント・行事)

(1) 月次

	通常規模型通所介護	認知症対応型通所介護
4月	お花見・ハンドマッサージ教室	音楽療法・公園清掃

5月	ドライブ・おやつ作り・利用者懇談会	音楽療法・公園清掃・利用者懇談会
6月		音楽療法・公園清掃
7月	夏祭り	音楽療法・公園清掃・夏祭り
8月	おやつ作り	音楽療法
9月	敬老会	音楽療法・公園清掃・敬老会・おやつ作り
10月		音楽療法・公園清掃・外出行事
11月		音楽療法・公園清掃・運動会
12月	創作活動・クリスマス会・餅つき大会	音楽療法・公園清掃・餅つき大会・クリスマス会・忘年会・創作活動
1月	新年会	音楽療法・公園清掃・新年会
2月	節分	音楽療法・公園清掃・節分・おやつ作り
3月	おやつ作り	音楽療法・公園清掃・お花見

(2) 特記事項

<通常規模型通所介護>

3月3日に東京都の実地指導が行われました。機能訓練指導員の配置や兼務業務の明記について指摘事項がありましたので、役割や兼務時間などを明白化した勤務表に訂正しました。

<認知症対応型通所介護>

8月1日に足立区の実地指導が行われました。運営基準が更新されていないこと、認知症対応型通所介護と一般の通所介護が同一の時間帯に営業を行う場合、職員の配置状況、利用者及びサービスを提供する空間を明確に区別していないこと、勤務表が認知症対応型通所介護と通常の通所介護が同じ職員配置や兼務業務が明記されていないこと、通所介護計画書においてサービス提供内容の記載について指摘事項ありましたので、すべてにおいて、必要な手続きを行い、勤務表も役割や兼務時間などの明白化をしました。

また、個別機能訓練加算については、配置上の問題もあり、自主点検を行い、平成27年6月から令和1年6月までを返還手続きを行いました。

1. 総括

利用者の「自立」「自律」を意識し、個としての自立、家族や地域の共同生活体としての両輪の調和のマネジメントを目指してきました。その人らしく尊厳を持って暮らすことができ、住み慣れた地域で自分らしい生活を続けられるように、今後も多職種と協働して支援をしていきます。

事業所内では、職員の入退職が続き、管理者の交代などもあり安定しない時期もありましたが、意欲的に仕事に取り組めるような職場環境づくりをすることも今後の課題と考えています。

2. 重点目標に対する評価

(1) 利用者本位の相談業務をする

取り組み内容	評価
困りごとや要望は何なのかを常にご利用者の声に耳を傾け、ご利用者の自立を意識し、自主性が発揮でき、自らの生活を意思決定ができるように支援をしていきます。	ご利用者とご家族の両方の意向を聞き、今後起こりうる状況を予測し、それぞれに合った情報を提供・提示しました。ご利用者と家族の意向が食い違い、苦労したこともありました。

(2) 多職種協働・連携をする

取り組み内容	評価
ご利用者の生活を一つの職種で支えることは不可能であり、多様な専門職が連携・協働してサービスを提供することが必要となります。そのために、必要なサービス事業者間での情報交換を密に行い、最新の情報を共有していきます。	担当者会議以外でも、多職種と密に連絡を取り、情報の共有をしていく。多職種の連携をして行く中で、医療との連携の難しさを感じました。今後の課題にしていきます。

3. 利用状況(2019年4月1日～2020年3月31日)

営業日数	定員	利用者数(3/31 現在)	
253日	40名(ケアマネ一人あたり)	39名	
一日平均	利用率	目標利用率	目標達成率
47.5人	56.8%	75.0%	75.8%

4. 職員状況

2020年3月31日現在

職種	配置数	現員(常勤 換算)	うち常勤	うち非常勤	入職者数 (通期)	退職者数 (通期)
介護支援専門員	1	1	1	0	1	1
管理者(施設長/所 長)	1	1	1	0		1

5. 権利擁護(苦情・虐待通報等)

なし

1. 総括

- 地域課題として地域包括支援センター鹿浜圏域（鹿浜・加賀・皿沼・椿・谷在家）現在総人口 34,142 名で高齢者人口 8,531 名 高齢化率約 25%となっています。（区内 25 包括中 4 番目に多い高齢者数）

後期高齢者が前期高齢者を上回っており、今後更に後期高齢者の増加や介護保険の認定率の増加、及び認知高齢者の増加が見込まれます。

圏域内に 5 か所の都営住宅を抱えています。どの都営住宅も歴史を重ね、多くの高齢者が生活しています。

圏域内には低所得者やキーパーソン不在・家族が精神疾患罹患等の多問題家族等のケースが多く発生しており、困難事例及び虐待事例などのケースが多くみられます。

多職種連携が求められていますが、連絡調整や連携の取りづらいため時間を要し苦慮しました。

- センター内課題として 2018 年度人事は 1 月に新規の職員を採用するも 1 ヶ月未満で退職する等、職員採用方法の再検討が必要です。
 - 地域活動においては重点項目にあるよう 2 か月おきに「サロン意見交換」を実施しました。10 月 10 日谷在家福祉園において総勢 130 名を超える方をお招きして「サロン交流会」を開催し、大成功の内に終了しました。また、サロン案内冊子を作成し配付しました。

2. 重点目標に対する評価

(2) 「地域づくりの更なる発展」

取り組み内容	評価
<p>2018 年度 7 か所のサロン活動が圏域内で開催されています。2018 年度はこのサロンの意見会を定期的実施。平成 31 年度はこの動きを更に発展させるため、圏域内のサロンの交流会を実施しました。地域住民にサロンを知って参加して頂き、今後自身でのサロン活動を積極的に実施出来る住民を発掘できる会としました。</p> <p>また、地域住民の自主的なサロンの立ち上げを支援し、近隣に集える場所の確保を積極的に創設しました。</p>	<p>自主グループをサロンとして立ち上げました。また、2 か月おきに意見交換を実施。10 月 10 日には谷在家福祉園において総勢 130 名の方を集め「サロン交流会」を実施しました。</p>

(2) 「認知症施策」

取り組み内容	評価
<p>認知症専門員による訪問事業を継続し 25</p>	<p>訪問事業においては、区提出 25 件は問題なく実</p>

<p>件は厳守します。件数にこだわり過ぎず内容を吟味していきます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・認知症サポーター養成講座を3回は実施していきます。 ・認知症カフェの運営が上手くいかず、参加者の減少やボランティアの方との意思疎通の希薄さよりカフェの運営を再度見直す必要に迫られました。専門員が中止になることは基ではありますが、必要に応じて他の職員も事の収集にあたり安定した取り組みを実施しました。 	<p>施できました。内容については今後も検討が必要です。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・認知症サポーター養成講座は3回実施することができました。 ・ボランティアと何回か話し合いを実施しました。また認知症専門員を7月に変更しました。
---	--

(3)「地域ケア会議の充実」

取り組み内容	評価
<ul style="list-style-type: none"> ・小会議を実施し、個別の課題を検討することで地域課題を検討する機会とします。 ・中会議は西部ブロックにおいて実施していきます。 	<ul style="list-style-type: none"> ・小会議は6月12日に絆あんしん連絡会にて「地域での見守り支援」をテーマに開催しました。個別ケースを実施し行政及び医療機関に参加を依頼「ごみ屋敷ケース」を検討しました。7月1日は個別ケースとして「不衛生な環境で生活する親子への支援～地域での見守り支援について」行政及び医療機関も参加して頂き開催しました。 ・中会議は11月18日に実施し西部ブロックとして「地域の担い手不足」が地域課題として共通のテーマとなり、2020年度引き続きのテーマとなりました。

3. 利用状況(2019年4月1日～2020年3月31日)

【事業名】

営業日数	定員	利用者数(3/31 現在)	延べ利用者数
315日	8,602名	8,602名	2,799名
一日平均	利用率		
8.8人	30.7%		

4. 職員状況

2020年3月31日現在

5. 権利擁護(苦情・虐待通報等)

日付	内容	対応	解決
1/30	区民(匿名)より「自分を抜いて話が どんどん進んでしまった」との訴え。 「丁寧に話をしたい」とのこと。 他の人にも同じようにされては困る ことと区から話して欲しいと の話があり連絡したとのこと。	次の朝ミーティングに て報告し注意喚起。	訴えた方と思われる方 より連絡があり訪問し 家族を含め再度説明し ました。

6. 活動・運営報告

(1) 月次

	活動・イベント・行事	運営・研修
4月	4/17(水)9地域ネットワーク「介護予防・ 日常生活支援総合事業について」	4/11(木)「支援センター連絡会」 4/15(月)「西部ブロック会議」
5月	5/16(木)介護予防教室「サロンいろいろ」 出前講座	5/16(木)「支援センター連絡会」 5/20(月)「西部ブロック会議」
6月	6/12(水)絆あんしん連絡会・地域ケア 会議「小会議」 6/21(金)認知症サポーター養成講座	6/13(木)「支援センター連絡会」 6/17(月)「西部ブロック会議」
7月	7/1(月)地域ケア会議「小会議」 7/11(木)もの忘れ相談	7/11(木)「支援センター連絡会」 7/16(火)「西部ブロック会議」 研修 職員：根本「認知症初期集中支援チー ム」
8月	8/21(水)絆あんしん連絡会	8/15(木)「支援センター連絡会」 8/19(月)「西部ブロック会議」 鹿浜主催
9月	9/21(土)認知症サポーター養成講座	9/12(木)「支援センター連絡会」 9/17(火)「西部ブロック会議」
10月	10/3(木)もの忘れ相談 10/10(木)絆あんしん連絡会「サロン 交流会」 10/23(水)地域ネットワーク「精神疾 患の方への対応」	10/17(木)「支援センター連絡会」 10/21(月)「西部ブロック会議」
11月	11/18(月)地域ケア会議「中会議」	11/14(木)「支援センター連絡会」 11/18(月)「西部ブロック会議」 研修 職員：杉本「地域ケア会議」
12月	12/21(土)介護予防教室「加賀町会」 出前講座	12/12(木)「支援センター連絡会」 12/16(月)「西部ブロック会議」
1月	1/22(水)絆あんしん連絡会	1/16(木)「支援センター連絡会」

	1/27 (月) 認知症サポーター養成講座 1/30 (木) もの忘れ相談	1/20 (月) 「西部ブロック会議」
2月	2/20 (木) 地域ネットワーク「アドバンスケアプランニング～人生会議～について」	2/13 (木) 「支援センター連絡会」 2/17 (月) 「西部ブロック会議」 鹿浜主催
3月		

(2) 特記事項

なし

2019年度 会議実施報告

運営会議・委員会

会議名	実施日
運営会議	4/15 5/21 6/17 7/16 8/19 9/17 10/21 11/19 12/16 1/21 2/17 3/17
身体拘束適正化委員会	4/9 5/14 6/11 7/9 8/13 9/10 10/10 11/12 12/10 1/14 2/11 3/10
感染対策委員会	4/9 5/14 6/11 7/9 8/13 9/10 10/10 11/12 12/10 1/14 2/11 3/10
安全衛生委員会（労働安全）（入所/デイ）	4/15 5/21 6/17 7/16 8/19 9/17 10/21 11/19 12/16 1/21 2/17 3/17
	4/18 5/16 6/19 7/16 8/15 9/17 10/15 11/14 12/19 1/17 2/18 3/21
褥瘡予防委員会	4/15 5/21 6/17 7/16 8/19 9/17 10/21 11/19 12/16 1/21 2/17 3/17
食事支援委員会	4/17 5/15 6/19 7/17 8/21 9/18 10/16 11/20 12/19 1/16 2/20 3/19
事故防止委員会	4/15 5/21 6/17 7/16 8/19 9/17 10/21 11/19 12/16 1/21 2/17 3/17

2階

2階リーダー会議	4/25 5/21 6/7 7/16 12/6 1/8 3/5
2階さくら みんなの話し合い	4/30 5/30 6/27 7/30 11/28 12/28 1/29 2/28 3/28 4/21
2階かえで みんなの話し合い	4/25 7/2 7/25 8/27 9/24 12/24 1/28 3/6

3階

3階リーダー会議	4/15 5/21 6/28 7/16 8/19 9/17 10/21 11/19 12/16 1/21 2/17 3/17
富士山に見える3階食堂の会	4/26 5/27 6/24 7/29 8/26 9/30 10/28 11/25 12/23 1/27 2/24 3/30

デイ

マネジメント会議	4/18 5/16 6/19 7/16 8/15 9/17 10/15 11/14 12/19 1/17 2/18 3/21
----------	---

居宅

居宅ミーティング	4/25 5/24 7/2 7/23 9/3 9/24 11/1 11/22 12/25 1/24 2/25
----------	---

2019年度 施設内部研修

実施日	研修項目	参加者
4月	感染症及び食中毒の予防及びまん延の防止のための指針 感染症予防マニュアル 身体拘束廃止に関する指針 身体拘束廃止マニュアル ※感染対策委員会、身体拘束適正化委員会内で実施	8名
7月	「食中毒」の予防	106名
9月	「血液感染」の知識（梅毒、HIV/エイズ、B・C型肝炎）	102名
9月	「権利擁護」（虐待防止/身体拘束、法令順守、認知症）	102名
10月	「インフルエンザ」対応の基礎知識	5名
11月	嘔吐処理研修（実践研修） / 「適切な嘔吐処理方法」実践	全職員
12月	「権利擁護」（チェックリスト/ある事例）	106名
2月	「権利擁護」（身体拘束廃止）	52名
2月	「新型コロナウイルス感染症」の基礎知識	102名
3月	「看取り支援」（事例報告）	32名

1 年間	○新規入職時研修 1.法人理念、基本方針、法人組織、事業計画 2.介護保険法、障害者総合支援法の理解 3.権利擁護研修 4.記録の仕方、パソコン研修 5.人事考課の説明 6.就業規則の説明、個人情報保護について 7.指針・マニュアル研修(感染、事故、虐待、身体拘束) 8.医療研修 9.栄養ケア研修	41 名
	○介護職員等の喀痰吸引等研修 ・不特定多数の者対象実地研修 ・特定の者対象基本研修 ・特定の者対象基本研修演習 ・特定の者対象実地研修	2 名 3 名 3 名 8 名

2019 年度 実習生受け入れ記録

月	実習受け入れ校	種別	人数 (延べ人数)
5月	聖和看護専門学校	看護師	7 (21)
	東洋大学	介護福祉士	2 (24)
6月	東洋大学 ※前月から継続	介護福祉士	2 (12)
	人事院	行政研修	7 (35)
	聖和看護専門学校	看護師	4 (12)
7月	東京未来大学福祉専門学校	介護福祉士	2 (16)
8月	聖徳大学	介護福祉士	1 (5)
9月	聖徳大学 ※前月から継続	介護福祉士	1 (6)
	聖和看護専門学校	看護師	3 (3)
10月	聖和看護専門学校 ※前月から継続	看護師	3 (9)
	聖和看護専門学校	看護師	3 (12)
11月	読売理工医療福祉専門学校	介護福祉士	2 (12)

2月	千住介護福祉専門学校 帝京科学大学	介護福祉士 介護福祉士	1 (15) 2 (20)
3月	千住介護福祉専門学校 ※前月から継続 帝京科学大学 ※前月から継続	介護福祉士 介護福祉士	1 (1) 2 (14)
合計			34名 (延べ217名)

2019年度 外部研修参加記録												
月	日	期間詳細	講座名	主催	参加							
					管理	事務	入所			通所		居宅
相談	介護	看護	介護	看護								
4月	18日	19:00~20:30	あだちケアマネ研究会	足立区社会福祉協議会							2	
5月	12日	5/12~6/2	レクリエーション介護士2級講座(2日間)	モーニングデイあさがお					1			
5月	15日	~	主任介護支援専門員全体研修	足立区介護保険課							1	
5月	16日	19:00~20:50	ケアプランにおけるAI導入	あだちケアマネ研究会							1	
5月	29日	5/29~7/29	東京都介護支援専門員現任研修専門研修I(7日間)	東京都福祉保健財団							1	
6月	11日	10:00~16:45	福祉用具・住宅改修基礎講習会	東京都福祉保健財団							1	
6月	14日	16:00~17:30	特定事業所加算取得に関する他法人との研修	ハピネスあだち							3	
6月	17日	13:30~17:00	ケアマネージャーが知っておきたい成年後見制度の基本	足立区社会福祉協議会 権利擁護あだち							1	
6月	20日	19:00~20:30	6月定例会	あだちケアマネ研究会							1	
6月	24日	12:00~17:00	足立区介護認定調査員新規研修	足立区介護保険課			1				1	
7月	3日	7/3~7/4	キャリアパス対応障害研修課程初任者研修	東京都社会福祉協議会 東京都福祉人材センター				1				
7月	12日	7/12~9/10	東京都介護支援専門員更新研修II(6日間)	総合健康推進財団								1
7月	12日	7/14~10/8	東京都介護支援専門員更新研修II(5日間)	総合健康推進財団								1

2019年度 外部研修参加記録														
月	日	期間詳細	講座名	主催	参加									
開催日程					管理	事務	入所			通所		居宅	包括	
							相談	介護	看護	介護	看護			
7月	30日		都道府県経営協セミナー(前期)	全国社会福祉協議会 全国社会福祉法人経営者協議会	1									
7月	31日	10:00~16:45	福祉用具・住宅改修基礎講習会	東京都福祉保健財団								1		
9月	2日		介護職員等による痰の吸引等の実施のための研修	東京都福祉保健財団				1						
9月	10日	9/10~11/25	2019年度第4回東京都認知症介護実践リーダー研修(8日間)	東京都社会福祉協議会			1							
10月	3日	10/3~10/4	第40回関東・甲信越地区身体障害者施設職員研修大会	甲信越地区身体障害者施設協議会	2	1								
10月	5日	10/5~11/14	東京都介護職員等による痰の吸引等の実施のための研修(10日間)	東京都福祉保健財団				1						
10月	13日	10:00~16:00	介護職に必要な高齢者の方への基本的な医療セミナー	日本通所ケア研究会						1				
10月	27日	10/27~10/28	東京都不特定多数対象指導看護師研修会(2日間)	東京都福祉保健財団					1					
10月	31日	10/30~11/6	介護福祉士実習指導者講習会(4日間)	東京都介護福祉士会						1				
11月	11日	11/11~11/19	介護福祉士実習指導者講習会(4日間)	高崎福祉医療カレッジ						1				
11月	19日	12:45~17:30	高齢者虐待防止研修	東京都福祉保健財団	1									
12月	7日	12/7~12/19	介護職員等による痰の吸引等の実技演習(3日間)	東京都福祉保健財団				1						
12月	13日	9:00~17:00	足立区認知症介護基礎研修	足立区	1									
12月	15日	10:00~16:00	介護職に必要な高齢者の方への基本的な医療セミナー	日本通所ケア研究会						1				

2019年度 外部研修参加記録													
月	日	期間詳細	講座名	主催	参加								
開催日程					管理	事務	入所			通所		居宅	包括
							相談	介護	看護	介護	看護		
12月	19日		介護報酬請求事務に関する研修会	東京都社会福祉協議会		1							
1月	23日	1/23~2/27	足立区認知症介護実践者研修(6日間)	足立区	1			1					
3月	4日	3/4~3/10	認知症対応型サービス事業管理者研修(2日間)⇒中止	東京都福祉保健局	1								

2019年度カフェさくら利用者数

月	利用者数	前年度比(%)	月	利用者数	前年度比(%)
4月	416名	93.2	10月	455名	102.7
5月	403名	87.9	11月	434名	96.8
6月	460名	100.0	12月	435名	116.3
7月	516名	113.1	1月	364名	102.5
8月	409名	103.5	2月	400名	95.2
9月	446名	117.6	3月	339名	79.3

2019年度合計	5,099名	100.3	月平均利用者	423名	100.4
----------	--------	-------	--------	------	-------

2019年度 防災訓練実施報告書

回	訓練月日	訓練種類	訓練内容	参加者 人数
1	8月22日	高齢者施設における 防火防災連絡協議会 出席	西新井消防署管内火災概要報告 認知症等高齢者住宅でおきた火災等の 事例報告	1人
2	12月26日	総合訓練（夜間）	火災確認→119番通報→初期消火→ 避難←報告 火災通報装置の使用要領	5人
3	2月22日	総合訓練（日中）	火災確認→119番通報→初期消火→ 避難←報告	5人
4	2月15日	高齢者施設における 防火防災連絡協議会 出席	西新井消防署管内火災概要報告 施設における防火防災等の取組み状況 について 自衛消防訓練の推進 次年度役員選出	1人

2019年度 設備点検記録

点検項目	実施箇所	実施日	回数
昇降機設備点検	エレベーター	4/10・5/8・6/12・7/108/18・9/11・ 10/9・11/25・12/18・1/8・2/12・3/11	12
自家用電気工作物点検	4F キュービクル	4/11・5/8・6/12・7/10・8/7・9/11・ 10/10・11/13・12/18・1/8・2/12・3/8	12
電子錠点検	全館	4/8、9・10/24	2
自動ドア保守点検	全館	4/8、9・10/24	2
給湯ボイラー点検	B1 ボイラー	4/10・10/9	2
害虫駆除点検	全館	4/10・6/12・8/14・10/9・1/31	5
循環ろ過システム点検	1F・3F 浴室	4/10・6/26	2
消防設備点検	全館	6/12、12/11	2

2019年度 入退所状況集計表

特別養護老人ホームさくら【定員 60名】

※基準日：毎月末日

	繰越 在籍者数	入 所	入所内訳				退 所	退所内訳				月 末 在籍者数	在籍者 実人員	在籍者 延べ日数	入院		外泊		平均 入所率
			在 宅	医 療 機 関	老 健 等	そ の 他		在 宅 復 帰	死 亡	長 期 療 養	そ の 他				実 人員	延 べ 日 数	実 人員	延 べ 日 数	
4月	59	1	1				0					60	60	1,800	2	31	1	1	100.00%
5月	60	0					1		1			59	59	1,835	1	6	1	1	98.65%
6月	59	1			1		0					60	60	1,798			1	1	99.88%
7月	60	0					1		1			59	59	1,844	2	37	1	1	99.13%
8月	59	1	1				1		1			59	59	1,832	3	37	1	2	98.49%
9月	59	0					0					59	59	1,770	1	23	1	1	98.33%
10月	59	1			1		2		2			58	58	1,847			1	1	99.30%
11月	58	0					1		1			57	57	1,724	4	25	1	1	95.77%
12月	57	1			1		1		1			57	57	1,766	2	26	1	1	94.94%
1月	57	1			1		1		1			57	57	1,764	1	19	1	1	94.83%
2月	57	2	1		1		1		1			58	58	1,686	2	35	1	1	96.89%
3月	58	2	2				2		2			58	58	1,790	1	5			96.23%
合計		10	5	0	5	0	11	0	11	0	0		701	21,456	19	244	11	12	97.70%

障害者支援施設かえで【定員 10名】

	繰越 在籍者数	入 所	入所内訳				退 所	退所内訳				月 末 在籍者数	在籍者 実人員	在籍者 延べ日数	入院		外泊		平均 入所率
			在 宅	医 療 機 関	他 施設 入所	そ の 他		在 宅 復 帰	死 亡	長 期 療 養	そ の 他				実 人員	延 べ 日 数	実 人員	延 べ 日 数	
4月	8	2	2	0	0	0	0	0	0	0	0	10	10	276	1	11	0	0	92.00%
5月	10	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	10	10	310	0	0	0	0	100.00%
6月	10	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	10	10	300	0	0	0	0	100.00%
7月	10	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	10	10	307	0	0	1	3	99.03%
8月	10	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	10	10	309	0	0	1	1	99.67%
9月	10	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	10	10	299	0	0	1	1	99.66%
10月	10	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	10	10	308	0	0	1	2	99.35%
11月	10	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	10	10	300	0	0	0	0	100.00%
12月	10	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	10	10	310	0	0	0	0	100.00%
1月	10	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	10	10	299	1	11	0	0	96.45%
2月	10	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	10	10	288	1	2	0	0	99.31%
3月	10	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	10	10	310	0	0	0	0	100.00%
合計		2	2	0	0	0	0	0	0	0	0		120	3,616	3	24	4	7	98.79%

2019年度 入居者状況集計表

2020年3月31日現在

特別養護老人ホーム さくら【定員 60名】

障害者支援施設かえで【定員10名】

年齢別状況

	男性	女性	合計
50歳～59歳	0人	0人	0人
60歳～64歳	0人	0人	0人
65歳～69歳	0人	2人	2人
70歳～74歳	0人	3人	3人
75歳～79歳	2人	6人	8人
80歳～84歳	3人	10人	13人
85歳～89歳	3人	13人	16人
90歳～94歳	1人	10人	11人
95歳～99歳	0人	3人	3人
100歳以上～	0人	2人	2人
合計	9人	49人	58人
平均年齢	83歳	85歳	84歳
最高年齢	90歳	102歳	
最低年齢	75歳	65歳	

	男性	女性	合計
～19歳以下	0人	0人	0人
20歳～29歳	0人	0人	0人
30歳～39歳	0人	0人	0人
40歳～49歳	2人	0人	2人
50歳～59歳	1人	1人	2人
60歳～64歳	1人	1人	2人
65歳～69歳	1人	0人	1人
70歳以上～	0人	3人	3人
合計	5人	5人	10人
平均年齢	55歳	70歳	62歳
最高年齢	67歳	81歳	
最低年齢	43歳	59歳	

在籍期間状況

2019年度 入居者状況集計表

2020年3月31日現在

特別養護老人ホーム さくら【定員 60名】

障害者支援施設かえで【定員10名】

年齢別状況

	男性	女性	合計
50歳～59歳	0人	0人	0人
60歳～64歳	0人	0人	0人
65歳～69歳	0人	2人	2人
70歳～74歳	0人	3人	3人
75歳～79歳	2人	6人	8人
80歳～84歳	3人	10人	13人
85歳～89歳	3人	13人	16人
90歳～94歳	1人	10人	11人
95歳～99歳	0人	3人	3人
100歳以上～	0人	2人	2人
合計	9人	49人	58人
平均年齢	83歳	85歳	84歳
最高年齢	90歳	102歳	
最低年齢	75歳	65歳	

	男性	女性	合計
～19歳以下	0人	0人	0人
20歳～29歳	0人	0人	0人
30歳～39歳	0人	0人	0人
40歳～49歳	2人	0人	2人
50歳～59歳	1人	1人	2人
60歳～64歳	1人	1人	2人
65歳～69歳	1人	0人	1人
70歳以上～	0人	3人	3人
合計	5人	5人	10人
平均年齢	55歳	70歳	62歳
最高年齢	67歳	81歳	
最低年齢	43歳	59歳	

介護度別人員					障害程度区分別人員			
	2階	3階	計	割合		男性	女性	合計
介護度 1	0人	0人	0人	0%	区分4	1人	0人	1人
介護度 2	0人	0人	0人	0%	区分5	2人	2人	4人
介護度 3	7人	8人	15人	26%	区分6	2人	3人	5人
介護度 4	9人	12人	21人	36%	合計	5人	5人	10人
介護度 5	15人	7人	22人	38%	福祉事務所別人員			
合計	31人	27人	58人			男性	女性	
平均介護度	4.3	4.0	4.1		足立区東部福祉事務所	1人	0人	
					足立区西部福祉事務所	2人	1人	
					足立区千住福祉事務所	0人	2人	
					足立区中部福祉事務所	1人	1人	
					足立区北部福祉事務所	1人	0人	
					渋谷区福祉事務所	0人	1人	
					合計	5人	5人	

2019年度 ショートステイ入退所状況集計表

特別養護老人ホームさくら【定員12名(2F 4名・3F 8名)】

	2 F (定員 4名)					3 F (定員 8名)					合計 (定員 12名)				
	利用人員	延べ日数	平均日数 (1人あたり)	平均利用率	送迎本数	利用人員	延べ日数	平均日数 (1人あたり)	平均利用率	送迎本数	利用人員	延べ日数	平均日数 (1人あたり)	平均利用率	送迎本数
4月	10	87	8.7	72.5%	28	9	110	12.2	45.8%	18	19	197	10.4	54.7%	46
5月	12	82	6.8	66.1%	25	8	117	14.6	47.2%	18	20	199	10	53.5%	43
6月	9	80	8.9	66.7%	28	9	103	11.4	42.9%	20	18	183	10.2	50.8%	48
7月	11	80	7.3	64.5%	40	9	142	15.8	57.3%	18	20	222	11.1	59.7%	58
8月	18	78	4.3	62.9%	35	13	129	9.9	52.0%	20	31	207	6.7	55.6%	55
9月	17	70	4.1	58.3%	32	14	135	9.6	56.3%	22	31	205	6.6	56.9%	54
10月	18	71	3.9	57.3%	34	14	132	9.4	53.2%	20	32	203	6.3	54.6%	54
11月	12	81	6.8	67.5%	38	10	128	12.8	53.3%	22	22	209	9.5	58.1%	60
12月	11	110	10	88.7%	35	10	111	11.1	44.8%	16	21	221	10.5	59.4%	51
1月	10	99	9.9	79.8%	32	9	105	11.7	42.3%	14	19	204	10.7	54.8%	46
2月	10	64	6.4	57.1%	30	9	108	12	48.2%	24	19	172	9.1	51.2%	54
3月	8	63	7.9	50.8%	23	3	94	31.3	37.9%	22	11	157	14.3	42.2%	45
合計	146	965	7.1	66%	380	117	1,414	13.5	48%	234	263	2,379	9.6	54.3%	614

障害者支援施設かえで【定員2名】

	利用人員	延べ泊数	平均泊数 (1人あたり)	平均利用率	送迎本数
4月	8	42	5.3	70.0%	8
5月	12	53	4.4	85.5%	12
6月	12	57	4.8	95.0%	13
7月	10	51	5.1	82.3%	12
8月	8	40	5.0	64.5%	10
9月	10	33	3.3	55.0%	11
10月	11	39	3.5	62.9%	14
11月	9	36	4.0	60.0%	9
12月	7	35	5.0	56.5%	11
1月	5	20	4.0	32.3%	9
2月	6	24	4.0	42.9%	7
3月	3	12	4.0	19.4%	3
合計	101	442	4.4	60.5%	119

2019年度 デイサービスセンター年間集計表

センターさくら【750人/月・定員20名/日】

	稼働日数	利用者数	平均利用者数	利用率
4月	26日	44人	12.2人	70.38%
5月	27日	45人	12.2人	70.00%
6月	25日	46人	11.8人	70.60%
7月	27日	46人	12.6人	72.22%
8月	27日	45人	12.7人	72.78%
9月	25日	44人	12.5人	74.78%
10月	27日	44人	12.6人	72.22%
11月	26日	43人	12.1人	69.81%
12月	24日	44人	10.9人	70.42%
1月	23日	45人	10.5人	70.65%
2月	25日	45人	11.8人	68.40%
3月	26日	45人	11.5人	66.65%
合計	616日	1062人	12.0人	70.74%

	男性	女性	合計
40歳～59歳	1人	0人	1人
60歳～64歳	0人	0人	0人
65歳～69歳	1人	0人	1人
70歳～74歳	2人	3人	5人
75歳～79歳	3人	7人	10人
80歳～84歳	5人	7人	12人
85歳～89歳	5人	10人	15人
90歳～94歳	0人	8人	8人
95歳～99歳	0人	1人	1人
100歳以上～	0人	0人	0人
合計	17人	36人	53人

	男性	女性	合計
要支援1	0人	1人	1人
要支援2	0人	9人	9人
介護度1	4人	5人	9人
介護度2	6人	7人	13人
介護度3	1人	7人	8人
介護度4	4人	4人	8人
介護度5	2人	3人	5人
合計	17人	36人	53人

	稼働日数	利用者数	平均利用者数	利用率
4月	26日	13人	3.00人	26.92%
5月	27日	13人	3.20人	26.23%
6月	25日	13人	3.10人	28.33%
7月	27日	12人	3.40人	29.94%
8月	27日	12人	3.60人	29.63%
9月	25日	12人	3.60人	26.67%
10月	27日	11人	3.20人	27.78%
11月	26日	11人	3.30人	25.00%
12月	24日	11人	3.00人	21.88%
1月	23日	9人	2.40人	25.36%
2月	25日	9人	2.60人	20.30%
3月	26日	8人	2.30人	18.00%
合計	616日	269人	3.06人	25.50%

	男性	女性	合計
40歳～59歳	0人	0人	0人
60歳～64歳	0人	0人	0人
65歳～69歳	0人	0人	0人
70歳～74歳	0人	0人	0人
75歳～79歳	1人	1人	2人
80歳～84歳	0人	1人	1人
85歳～89歳	0人	2人	2人
90歳～94歳	0人	2人	2人
95歳～99歳	0人	1人	1人
100歳以上～	0人	0人	0人
合計	1人	7人	8人

	男性	女性	合計
要支援1	0人	0人	0人
要支援2	0人	0人	0人
介護度1	0人	0人	0人
介護度2	0人	0人	0人
介護度3	1人	4人	5人
介護度4	0人	2人	2人
介護度5	0人	1人	1人
合計	1人	7人	8人

生活介護【施設入所支援10名+通所10名】

	稼働日数	利用者数	平均利用者数	利用率
4月	22日	36人	18.6人	93%
5月	23日	36人	17.2人	85%
6月	20日	35人	19.7人	98%
7月	23日	35人	19.2人	96%
8月	22日	35人	18.5人	92%
9月	21日	35人	19.6人	98%
10月	23日	35人	19.0人	95%
11月	21日	35人	17.8人	88%
12月	20日	35人	18.4人	92%
1月	20日	33人	17.2人	86%
2月	20日	33人	17.9人	89%
3月	22日	34人	18.8人	93%
合計	514日	417人	18.5人	92%

生活介護年齢別状況【施設入所支援10名+通所10名】

	男性	女性	合計
～19歳以下	0人	0人	0人
20歳～29歳	0人	1人	1人
30歳～39歳	2人	0人	2人
40歳～49歳	2人	3人	5人
50歳～59歳	10人	8人	18人
60歳～64歳	2人	6人	8人
65歳以上	1人	3人	4人
合計	17人	21人	38人
最高年齢	67歳	81歳	
最低年齢	35歳	25歳	

障害程度区分別人員【施設入所支援10名+通所10名】

	男性	女性	合計
区分3	3人	3人	6人
区分4	6人	5人	11人
区分5	4人	8人	12人
区分6	4人	5人	9人
合計	17人	21人	38人